

豊南小学校・校長室だより

平成 29 年(2017 年)10 月 23 日
発行者 西山 博章

児童数配布

第 34 号
(通算 120 号)

「オープンスクール」ご参加有難うございました！！

先週金曜日(20日)は、本校はじめての試みとして「オープンスクールデイ」と名付けて、終日、保護者の方々が授業や休み時間、給食等々といった子どもたちの学校生活のあらゆる場面を見ていただくことができる機会をもちました。

お天気も心配だったのですが、何ぶん、学校としてもはじめてのことで、門の開閉の問題や、保護者証のこと等々混乱をきたさないかと気を揉んでいました。しかし、実際、始めてみると、保護者証がない方もほとんどおられず、また、自転車についても自粛していただき混乱もなく一日を終えることができました。

前回の校長室だよりでも書きましたが、この「オープンスクール」は、普段のままの「学校生活の雰囲気、空気」を保護者の方に感じていただくことを目的としていました。オープンスクールに来られて帰られる何人かのお母さんに、「どうでしたか？」と訊ねると、「参観とは違って、普段の様子を見ることができて良かったです！」という答えが返ってきました。

先生たちも、参観のように「特段の準備(?)」をすることもなく、日常の一コマを保護者の方にお見せしたわけで、中にはせっかくなので担任の先生とお話をされている場面もあつたりしました。

以前にも書いたことがあります。先生と保護者の方とは、「何かあったから」「話す」のではなく、普段から「子どもを真ん中にして」普段の様子や、意外な一面等々、一見、他愛のないような話をするのが大切なのではないかと思っています。そうすることで、お互いの関係ができていき、色々な問題が起こったときでも、保護者の方と先生(学校)が「同じスタンスで」子どもに向き合うことができるのだと考えています。

昔(大昔ではないですよ…)、担任をしていたとき、よく、何気ない学校での様子を伝えるために、クラスの生徒の家に電話をしたり、家庭訪問(?そんな大それたことではないですが…)をしていました。気がつけば、私からだけでなく、生徒の保護者の方からもときどき、家での様子や相談事で電話をもらうようになっていったことを思い出しました。(懐かしい…)

今回の「オープンスクール」も、そんな、保護者の方と先生(学校)との「良い関係」をつくるきっかけになれば幸いです。(※ご来校いただいた方は、概数ですが、「延べ132人」でした。)

☆☆☆昨日は、台風接近の中PTA行事の「豊南フェスタ」がありました！

昨日、台風の接近でかなりの雨が降っていましたが、運営委員さんやたくさんのお手伝いに来ていただいたPTAの方々、児童会の子どもたち、先生方の協力で「豊南フェスタ」が実施されました！

あいにくのお天気でしたが、本校の子どもたちや保護者の方が、たくさん参加していただき例年のように盛り上がりました。児童会の子どもたちは、ジュースの販売を手伝ってくれていました。(ありがとう！)

運動場の出し物はなかったのですが、体育館では、おなじみ「いらいら棒」や「福引」、「昔遊び」、「ボーリング(?)」に加えて、「なわとび(2本のなわとびを交差させて回し、その中を跳ぶやつです)」にもチャレンジしている子どもたちもたくさんいました。昼過ぎに「警報」がでたので、残念ながら途中で中止となりましたが、お天気とはうらはらに、とっても「熱く」「盛り上がり」ました！参加していただいた保護者の方々、子どもたち有難う！

人気の権引！！



☆☆☆ 蛇足ですが…



昨日「豊南フェスタ」のときに、出会った何人かの子どもたちから「先生、今日はレイ君は来てないの??」と何度も訊かれました。

あいにくの雨だったので、レイ君は「行きたそうに」していましたが、昨日は家で他の犬たちといっしょに「お留守番」でした。

また、「オープンスクール」のときにも、何人かのお母さん方から「今日は、レイ君は来ていないんですか？」と声をかけていただきました。

機会をみてまた一緒に登校しますので、そのときはよろしくお願いします！

To be continued (次号に続きます)